| 科目コード | R24201 | 科目名 | 理学療法学概論 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 履修区分 | 必修 | 開講期 | 1年前期 | 授業回数 | 15回 | 単位数 | 1単位 |
| 担当者 | 甲田　宗嗣 | | | | | | |
| 授業の概要 | 理学療法学を学ぶにあたり、基本的な態度と知識を身につける。理学療法の基礎となる歴史、法的根拠、障害モデルなどを包括的に俯瞰し、4年間のカリキュラムにおける各科目の必要性を説く。 | | | | | | |

| DPとの関連 | | |
|---|---|---|
| | ①平和を希求する心と豊かな人間性を身につける | △ |
| | ②修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける | ○ |
| | ③高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける | ◎ |
| | ④地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける | △ |
| | 2025年度以降の学則適用者用のDPとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は項目順や表現が異なりますので注意してください | |
| | ※DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力 | |

| | |
|---|---|
| 到達目標 | 医療専門職になるために自ら学びを深める態度を養い、自ら意見や疑問を述べることができる。<br>理学療法士及び作業療法士法を理解し、倫理的に立ち振る舞う重要性を説明できる。<br>疾病により生じる障害を障害モデルに従って説明できる。<br>理学療法プロセスを理解し、疾患ごとの典型的な障害や理学療法を調べることができる。 |
| 履修上の注意事項 | C-learningを利用するので、スマートフォン等にインストールし、準備しておくこと。12～15回目は演習を行うので、自身のパソコンを使用できるよう準備しておくこと。 |

授業計画

| 回数 | 講義内容【担当教員】 | 事前・事後学修 |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション　・教員自己紹介　・学生自己紹介　・大学での学び<br>・この講義を受講する際の留意事項 | ・事前学習：自己紹介の準備等（30分）・事前学習：Webページ全体の閲覧（30分） |
| 2 | 理学療法とは　・法的定義　・歴史 | ・事前学習：Webページ、リンク先の熟読（40分）・事後学習：質問・疑問の整理（20分） |
| 3 | 障害を取り巻く歴史　・国連の取り組み　・ノーマライゼーション　・IL運動<br>・日本の施策の変遷 | ・事前学習：Webページ、リンク先の熟読（40分）・事後学習：質問・疑問の整理（20分） |
| 4 | 障害とは (1)　・国際障害分類と国際生活機能分類 | ・事前学習：Webページ、リンク先の熟読（40分）・事後学習：質問・疑問の整理（20分） |
| 5 | 障害とは (2)　・ADL・QOL・バリアフリーとユニバーサルデザイン | ・事前学習：Webページ、リンク先の熟読（40分）・事後学習：質問・疑問の整理（20分） |
| 6 | 理学療法とリハビリテーション　・リハビリテーション　・理学療法の位置付け<br>・チーム医療 | ・事前学習：Webページ、リンク先の熟読（40分）・事後学習：質問・疑問の整理（20分） |
| 7 | 理学療法を行うにあたり　・プロフェッショナリズム　・理学療法プロセス<br>・EBM　・診療ガイドライン | ・事前学習：Webページ、リンク先の熟読（40分）・事後学習：質問・疑問の整理（20分） |
| 8 | 理学療法の実際 (1)　・理学療法の対象となる生活機能 | ・事前学習：Webページ、リンク先の熟読（40分）・事後学習：質問・疑問の整理（20分） |
| 9 | 理学療法の実際 (2)　・避けるべき3つの「用」 | ・事前学習：Webページ、リンク先の熟読（40分）・事後学習：質問・疑問の整理（20分） |
| 10 | 理学療法の実際 (3)　・手段としての理学療法の構成 | ・事前学習：Webページ、リンク先の熟読（40分）・事後学習：質問・疑問の整理（20分） |
| 11 | 理学療法に関わる法律や制度　・理学療法士及び作業療法士法<br>・関連職種との法的関係 | ・事前学習：Webページ、リンク先の熟読（40分）・事後学習：質問・疑問の整理（20分） |
| 12 | 演習：疾患ごとの典型的な障害や理学療法の方法を調べる　・課題の説明<br>・演習 | ・事後学習：演習課題の作成（60分） |
| 13 | 演習：疾患ごとの典型的な障害や理学療法の方法を調べる　・演習 | ・事前事後学習：演習課題の作成（60分） |
| 14 | 演習の発表（1）　・グループ内発表　・相互評価 | ・事前学習：演習課題の作成（60分） |
| 15 | 演習の発表（2）　・相互評価による優秀課題の全体発表 | ・事前学習：相互評価（60分） |

| | |
|---|---|
| 成績評価方法 | 期末試験80%、演習課題20%とし、それぞれで6割以上を満たした場合に単位認定の対象とし、合算して評点する。<br>ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。 |

| | 書名・著者（出版社） | ISBNコード |
|---|---|---|
| 教科書 | プリント、独自作成のWebページを使用 | |
| | | |
| | | |
| 参考書 | | |
| | | |
| | | |

| | |
|---|---|
| 教員からのメッセージ | 分からない言葉はその都度辞書などで調べること。 |
| 教員との連絡方法 | C-learningを利用してください。 |
| 実務経験のある教員 | 急性期病院での診療（整形外科、脳神経外科、呼吸器科、循環器科等）。回復期リハビリテーション病院の開設準備、診療（脳卒中、多発外傷、神経難病、脊髄損傷、下肢切断等）、管理業務。専門理学療法士（神経、運動器、基礎、教育・管理）、公認心理師、呼吸療法認定士。 |